

キャリア 環境

プロフェッショナル 仕事の流儀 ロープ1本で、世界の平和を守る 土木技術者 山口宇玄

放送日：2022年2月22日 放送時間：45分



対象校種 中学校・高校

対象教科 総合・道徳・技術・学級活動

この番組の良さ



● ロープ1本で、世界の平和を守る人

土木技術者の山口宇玄(たかはる)さんは、風車や橋、ダム、明石海峡大橋などの土木構造物の点検・調査業務をロープ1本で点検します。その技術は、精度の高さと安全性の向上において、国から“新技術”と評価され、海外からも仕事の依頼があります。

番組では、兵庫にある大橋の点検現場で、30kgの重さのおよそ100種類の道具を駆使し、わずか数ミリのひび割れを見つけ出す様子を追い、その技術のすごさを伝えます。

● 安全への強い思い

この仕事は、常に危険と隣合わせです。山口さんは講習会や安全訓練を通じて、雇用を生み出している充実感とともにリスクを背負う人間を増やしている責任を感じています。

安全への質をどうやって高めていくか、自分の安全の熱量をどうやって周りの人間にももってもらいたいのか、山口さんは考えます。

番組を通じて、自分と仕事との向き合い方や、生き方を見つめることができます。

番組活用のポイント

● インフラの現状と安全を守る「土木技術者」について知る

日本のインフラは高度成長期に建設されたものが多く、現在老朽化が進んでいます。国土交通省によると、2029年には全国にある72万の橋のうち、約半分以上が建設から50年を迎える予定です。2012年に起きた笹子トンネル天井板崩落事故では、9名の人がなくなりました。この事故をきっかけにして、橋やトンネルは5年に一度、近くからの目視点検が義務付けられるようになりました。

NHKの取材班は、人が造ったものなのに普通に行けなくなっている場所でロープ1本で補修点検を行う山口さんに密着しています。

本番組を活用するにあたっては、「危険に対して、どう向き合うか」ということをテーマに置き、学習を進めると効果的です。

時間が許せば、全視聴をお勧めします。山口さんは、全自動でダムや橋の点検を行うことができる壁面観測ロボットの開発にも積極的に協力しています。「一番の安全は、いつかこの仕事が無くなること」と言っています。

● キャリア教育・道徳教育として生き方を考える

道徳教育として、「将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること」をねらいとして取り上げることも考えられます。

普段の生活で、「適度にいいことをしないと悪いことが起こる気がする」と言いながら続けるゴミ拾いや同僚へのサービス、「恩の倍返し」と言いながら献血を行う山口さんの姿に、人としての在り方を学ぶことができます。



執筆者
松江市立義務教育学校 玉湯学園
教諭 瀬崎邦博

学習展開例

ダムや橋のインフラ点検を通して人々の安全を守る 山口さんの仕事に対する思いはどのようなものか

対象校種 中学校・高校
対象教科 総合・道徳・技術・学級活動

[授業時間 50分] 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<div style="text-align: center;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活に役立っている、人が造った大きな建造物にはどんなものがあるか、その安全はどうやって保たれているのか尋ねる。 番組を見て印象に残ったことを聞く。 番組を紹介し、部分視聴する。 「危険に対して、どう向き合うか」、自分の思いや考え、心に残ったことを書く時間を設定し、タブレット端末に記入するなどして、全体で共有する。 意見交流する時間を設定し、自分の見方・考え方を広げる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口さんの安全に対する思いや仕事へ向かう姿勢を番組視聴から考察し、学んだことを、これからの自分の考え方や生き方にどう生かすべきか、自分の言葉でまとめることができる。